

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2010

課題番号：19500649

研究課題名（和文） アーミッシュシステムから見た現代社会のリスクマネジメント

研究課題名（英文） The risk management for modern societies from the analysis of Amish system

研究代表者

大藪 千穂 (OYABU CHIHO)

岐阜大学・教育学部・准教授

研究者番号：10262742

研究代表者の専門分野：家政学・生活経済学

科研費の分科・細目：1501

キーワード：アーミッシュ、ライフスタイル、リスクマネジメント、情報、環境

1. 研究計画の概要

本研究は、我々が持続可能な社会を確立していくために、アメリカ・カナダで300年来のライフスタイルを守り続け、安定的に成長しているアーミッシュシステムをモデルとして取り上げ、彼らのシステムと現代社会のシステムを比較検討し、特に情報、廃棄、経済社会システムを分析することによって、持続可能な社会のために生活側面でどのようなリスクマネジメントが必要であるかを明らかにすることを目的としている。

2. 研究の進捗状況

(1) 情報に関する研究

情報については、アーミッシュの生活誌 *Family Life* と教師のための情報誌 *Blackboard Bulletin* について分析した。まず分析枠組みとして、価値観、時間、空間の軸を設定し、それぞれの内容を読み込み、アーミッシュの価値観を明らかにした。この結果、これらの情報誌はアーミッシュの価値観の形成に極めて重要な意味を持っていることを明らかにすることができた。*Family Life* では、特に家族、コミュニティにおける教育を重視しており、*Blackboard Bulletin* では、家庭教育と学校教育の連携を重視していることが明らかとなった。また、アメリカの消費者情報誌である *Consumer Reports* 誌を分析することで、現代社会が直面している消費者問題を明らかにした。この分析においても、取り上げている費目、品目等の情報内容に分類して、集計を行った。この結果、2000年代は、交通、教養娯楽等の情報が多く、それらがアメリカ人にとって必要な生活用品であることが明らかとなった。また、アメリカ

に住んでいるアーミッシュがそこからどのような影響を受けるかを提示することができた。

(2) 廃棄システムに関する研究

廃棄システムに関しては、日本の家庭のマテリアルフローと廃棄に関する調査分析を、日本家庭500世帯と学校給食における残滓量の分析によって明らかにした。この結果、廃棄量と消費者の意識が密接に結びついていることが明らかとなった。このため、消費者教育の可能性について言及することができた。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進展している。情報分析と経済社会システム、廃棄システムについては我が国についての研究は、かなり進展が見られた。本年は、アーミッシュの廃棄に関する実態調査とスクールマネジメントに関する調査をする予定である。

4. 今後の研究の推進方策

最後の年度ではあるが、再度アーミッシュを訪れ、アーミッシュの廃棄システムについてのアンケート調査依頼をする予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 7件)

① Oyabu C., Sugihara T., An Analysis of "Blackboard Bulletin" from the view of Human Development, 中部消費者教育論集, 5, 1-15, 2009, 有

- ②大藪千穂・杉原利治、学校給食の残滓分析と消費者教育の可能性、消費者教育、29、229-238、2009、有
- ③大藪千穂・杉原利治、Consumer Reportsにおける消費者情報分析 2. 1960年代の消費者情報、日本家政学会誌、60(7)、617-628、2009、有
- ④大藪千穂・杉原利治、学校給食の残滓、日本家政学会誌、59(8)、621-630、2008、有
- ⑤大藪千穂・杉原利治、アーミッシュ家庭誌 Family Life のレシピ分析、日本家政学会誌、58(10)、645-654、2007、有
- ⑥大藪千穂・杉原利治・後藤尚弘、消費者の情報活動と家庭ごみの減量、消費者教育、27、53-62、2007、有
- ⑦大藪千穂・高松一恵・杉原利治、アーミッシュの教科書分析 5. Reader の教科書分析(1)、岐阜大学教育学部研究報告教育実践研究、9、77-94、2007、無

〔学会発表〕(計 5 件)

- ①大藪千穂・杉原利治、家庭のマテリアル・フローからみたごみの減量と消費者教育、日本消費者教育学会第 29 回大会、2009 年 10 月 11 日、長崎大学
- ②Oyabu C., The Development of Indicators for Enriched Life, Asian Consumer and Family Economics Association, 2009. 7. 4, セントコア山口
- ③大藪千穂・杉原利治、Consumer Reports の消費者情報分析(3)2000~2005年の消費者情報、日本家政学会第 61 回大会、2009 年 8 月 31 日、武庫川女子大学
- ④大藪千穂・杉原利治、学校給食の残滓と消費者教育の可能性、日本消費者教育学会第 28 回大会、2008 年 10 月 12 日、かでの 2・7
- ⑤Oyabu C., Sugihara T., Perspectives of a sustainable society through the traditional way of their dietary life of the Amish-The analysis of recipes in the Amish magazine-, XX1th IFHE Congress, Lucerne, 2008. 7. 31, Switzerland,

〔図書〕(計 3 件)

- ①大藪千穂・小木紀之、財団法人日本産業協会、消費者問題 行政問題、2009 年、6-101
- ②杉原利治・大藪千穂翻訳、論創社、アーミッシュの昨日・今日・明日、2009 年、158
- ③大藪千穂、財団法人放送大学教育振興会、仕事・所得と資産選択、2008 年、1-207

〔産業財産権〕

- 出願状況(計 件)
- なし
- 名称:
- 発明者:
- 権利者:

- 種類:
- 番号:
- 出願年月日:
- 国内外の別:

○取得状況(計 件)

- なし
- 名称:
- 発明者:
- 権利者:
- 種類:
- 番号:
- 取得年月日:
- 国内外の別:

〔その他〕

講演と展覧会の開催

講演

- ①杉原利治・大藪千穂、アーミッシュという生き方、国際染色美術館、北海道旭川市、2009 年 9 月 27 日
- ②杉原利治・大藪千穂、アーミッシュという生き方、思文閣美術館、京都市、2009 年 7 月 12 日
- ③大藪千穂、アーミッシュにおける生活と協働、国際研究フォーラム、国立民族学博物館、2009 年 6 月 21 日
- ③大藪千穂、オルタナティブ教育と時のデザインー現代アメリカにおけるアーミッシュという生き方ー、国際研究フォーラム、国立民族学博物館、2009 年 3 月 1 日、立命館大学

展覧会

- ①杉原利治・大藪千穂企画・監修、Plain People アーミッシュの生き方展、国際染色美術館、北海道旭川市、2009 年 9 月 19 日~10 月 18 日
- ②杉原利治・大藪千穂企画・監修、Plain People アーミッシュの生き方展、思文閣美術館、京都市、2009 年 5 月 2 日~8 月 2 日